

無形文化遺産に関わる音声・画像・映像資料のデジタル化 (③無03-15-5/5)

目 的

無形文化遺産部が所蔵する音声・画像・映像資料のデジタル化。第1期中期計画（平成17年度終了）の事業案策定後の購入・寄贈にかかるアナログ資料を中心に、これまでに収集蓄積してきた分野を補完する資料の媒体転換を重点的に実施する。併せて、デジタル化を済ませた音声資料は、インデックス付与を含む整理を推進する。この事業は、将来的には資料のデータベース公開と音声・画像等の配信を目指すものである。

成 果

1. 映像資料については、再生不可となることが危惧されるHi 8（ハイエイト）を中心に媒体変換を行い、DVD22枚を作成した。
2. 音声記録のデジタル化は、前年度に引き続き、1960年代に放送された純邦楽関連のテープ録音を中心に収録内容を確認した。また民謡テープ109本（約74時間）についてもデジタル化を実施し、収録内容の確認を行った。
3. カセットテープに関しては、旧芸能部所蔵テープの内、寺事の現地録音を中心に内容確認を行った。
4. 無形文化遺産関連の映像資料362枚（作成DVD140枚・作成BD222枚）を所蔵資料として新たに登録した。

研究組織

○飯島満、高桑いづみ、久保田裕道、石村智、菊池理予、今石みぎわ、佐野真規、橋本かおる（以上、無形文化遺産部）